

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所単独の理念は作成していない 法人全体として「富める人、愛し人 すべての人々に心のこもった医療福祉を を社訓として事業運営している。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎週のミーティング(週一回)及び毎朝 の申し送りの際に共有化を図っている	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	実施していない	○ 笠間市に運営推進会議開催 を働きかけていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	買い物や散歩を通して近隣の方 との接点は多いものと思われる	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敬老会や食事会等招待され ていり方が多い。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	今のところ取組みは行ってない	○	運営推進会議開催した折に検討して、きた...
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年度も第三者評価実施している	○	家族との関わり方や利用者への接し方等参考になる点が多くなり改善に向けて取り組んでいきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は行わない	○	運営推進会議実施を笠岡市に働きかけて行いたいと思います。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村との連携は十分ではないと考えている	○	市町村との連携はまだまだであるが少しずつ確立してきている。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会等から情報は入れているが実際に活用したケースはない。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に参加し学習をしている 内部研修の際に議題として取り上げ、各職員に伝達している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	希望者には入居前にホーム見学していただき、G.Hでの実際の生活を見せたいとしている。不審な疑問点がある時はその場でも後日でも説明した上で納得した上で利用いただける様にしていく		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	不満、苦情にはよりよい生活を送っていただく上で必要なことであると捉えている。利用者の意見も取り入れて出来るだけ満足していただく努力をしている		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2ヶ月に1回G.Hでの生活状況等を報告している。その際に金銭収支の帳簿のコピーを送付している。体調の変化があった際にはその都度家族に電話連絡している		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情解決体制を整備し第三者委員を活用することで利用者、家族からの意見・要望を表せる様になっている。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度班内でのG.H代表者会議を行っており、その際に職員の意見や提案を運営者に報告し、検討して用いたとしている。	○	仕事をしていく上で問題又は提案がある場合は意見交換して出さず限り反省させている。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	日勤は1ユニット3名の職員で柔軟な対応が出来る様に調整している。夜間作業家政婦紹介所のヘルパーを利用して調整している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>認知症高齢者の特性を踏まえて、担当職員の異動は最低限とする様に配慮している</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19 ○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修、自主研修を通じて職員個々がレベルアップを図る様に努めている。</p>		
<p>20 ○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の中で行われている研修会に参加しており、他の施設の職員との情報交換の場としている。</p>		
<p>21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>老人福祉の旅行や忘年会に参加し交流親睦を図っている</p>		
<p>22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>定期的にG.H管理担当職員から訪問して職員の勤務状況を確認を把握している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居受け入れ、及び必要に応じて本人や家族より医療への状況入居までの経緯、これからの生活で不安なことについて聞いている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話での問い合わせや見学から入居までの間、不安なことや困っていることなどあれば随時対応している	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	3人内で支援事業所、医療機関、老人保健施設、療養型施設、ケアハウス等運営しており、ニーズに応じて他のサービスが必要かどうか本人及び家族に助言している	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族の希望があれど事前の施設見学の短期間の体験入居での受け入れを実施している。利用者本人に合ったサービスに心掛け生活において不安をなくすべく家族と話し合いながらサービスに努めている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	私達自身介護を通して日々成長させていたのではないかと思ふ一方的にお世話をしている等と春えている職員は少ないと思ふ	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	常時面会が可能としているし、本人が面会を希望している時及び不安を感じている時等には家族にその力の依頼をしている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者の状況に変化があった場合に連絡を取り合い、家族も含めて本人の生活において最も良い状況を作り出せるような方法を見つけようとしている		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族面会の際に、地域で共に過ごされてきた方等と一緒に面会できることがあるので、そのような機会を大切にしていきたいと考えている	○	ご家族の方か面会にいられた折りに募りとか本人が住まわれていた場所への外出が出来るように働きかけていきたいと考えている。
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者が孤立しないように配慮し、声かけや見守りを行っている		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院のため退所された大層なお宅を訪問したり、あそびに来られたりして、関係を維持している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	※新設1ヶ月程度で家族や関係職員からの情報収集を元に初回のケアプラン作成のためのサービス担当者会を開催している	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	※新設並ぶに必要に応じて家族、本人から生活歴や生活環境等を伺い、これまでの暮らしの把握に努めている	○ 認知症高齢者の特性に配慮した独自のアセスメント書式を準備し、ケアプランへとつなげていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	高齢者の方に対して、日々援助していく中で、表情やその様子をみて心身状態が理解できるように努めている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	把握した家族の意向、本人の生活への意向を踏まえ、ケアでの生活上の課題や希望がかなえられるように、利用者本位の介護計画を作成している 週回1回一度の課題点を改善すべき点を話しあっている	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間は1ヶ月ごとに見直しを行うと共に週1回職員カンファレンスをし個々の利用者の現状に即した介護計画の実践できるように工夫している	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録と共に毎朝のミーティングで前日の様子や情報を共有し、気づきや工夫がケアに反映されるようにしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ニーズに応じて柔軟な対応には心掛けているが、ショートステイやケアサービスは実施していない。多機能事業所ではない職員配置の問題があり実施予定はない		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	行事の際には地域のボランティア団体への協力依頼を続けており、地域の資源として浸透してきているとかわれる。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	近隣にある医療機関、特別養護老人ホーム老人保健施設療養型施設ケアハウス等対象者の状況に応じて適切なサービスにつなげられるように支援している		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在地域包括支援センターとの連携は図っている。	○	地域密着の理念を実現していくため、地域包括支援センターとの連携は必要であると考えられている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との連携は特に意識して取り組んでいる。又精神疾患を抱えている方は専門の病院に受診して、主治医に相談も受けている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	多くの認知症の方を診察してきた医師が主治医となっている。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日常診でいただいている看護師に様々な相談にのってもらっている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	かかりつけ医との連携は特に意識して取り組んでいる。又入院した場合でも主治医に相談して出来る限り短期間で退院できるように努めている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所契約時に入院が長期間になつた場合の話をさせていたなっている。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	希望者や受診の必要がある方は定期的に受診できる体制が整えてある。主治医との連携を図り重複障害、重い認知症の方や脳梗塞、心疾患等の病気を抱えた方でも長く付添いの生活が出来るように配慮している。		

できるように配慮している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 〇住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	転居する施設や支援事業所へ情報を送り環境の変化から来るダメージが少なくなる様に配慮している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 〇プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーに配慮した対応を心にかける様に職員に指導している。		
51 〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の解りやすい言葉で、ペースを合わせ対応して、意を表出かしやすき様にしている。		
52 〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	意思表示が出来る方の意向を尊重して対応している。意思表示の読み取りが困難な方でも小さな変化や反応を読み取り希望に沿った生活が出来る様に支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	出張美容室を利用しやすアカラヒやカサカ出来る様に個別に対応している。衣類は近くで店を出り散歩時等対応している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	生活や介護維持できるように準備や片付けは出来る範囲で身振っていたている、味付け等工夫しながら好み合った食事提供を心かけている。		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	禁止している酒タバコ以外は出来るだけ嗜好に合わせて個別にケアしている。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	認知症が進行してもトイレで排泄が可能なように排泄の状況を把握し一人ひとりの状況に合わせて能力維持ができるように実施している。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	最低週2回の入浴と好みに応じて時間や温度調整が出来ようように意見を聞きながら対応している。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼食後の入居者の休み時間には特に静かに休んでいる様に声かけしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	季節に合わせた食事や行事、レクリエーションを通じて一人一人の力を活かした支援を心かけている		


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	し (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理から出る方の金銭は自己管理して頂いている。敷地内にある自動販売機で自由に購入している。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩を兼ねて嗜好品の購入をしている。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外出行事等に対応している、家族協力が得られる方については外出時等に対応していただいている。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホーム内にある電話機を使用し、いかに連絡出来る様にしており、手紙もいつでも送れる様にしている。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時は利用者の居室にて自由に談話できるようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないで安全に生活できるように日々実践している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者は自由に野外に出て活動ができるようになっている。ただ、徘徊等の問題を抱えている方の安全確保のため玄関に鍵は掛けない鍵を掛けた来訪者にはチャイムで対応している利用者、家族にその事情を説明し理解を得ている		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の居室に入る際にはロックや鍵がかかるとして必ず許可を得てプライバシーに配慮した対応をしている		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一律の対応ではなく個々の状況に応じて物品の保管や管理をしている		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	救急法を学んでまた職員からG、H研修において知識を伝えている		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応備えて事所内に応急手当や初期対応の方法が提示してある。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に消防訓練を実施しているスカーの時に協力が得やすいよう隣近所との付き合いも大切に行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 〇リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	リスク状態にある方には近況報告及び課題点の報告を行い、その都度の対応を検討している		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 〇体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎月のミーティングにおいて全職員が情報共有できるようにしている		
74 〇服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ケース記録に薬の副作用や副作用をまとめた書類を添付し、いつまで確認できるようにしている。疑問点などは主治医に確認している		
75 〇便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日の排泄チェック表にし、有無を確認している。適度な運動や水分補給を促すように働きかけをしている		
76 〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声かけ、見守り、介助と個々の状況に応じて清潔に生活できるように援助している。		
77 〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立により調理を行っている。食事量や記録しており、必要量の摂取できるように支援している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルにそって対応して いる。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手指の消毒、熱湯消毒、衛生管理の 徹底、食材は加熱、冷蔵庫活用し て保管し食中毒予防に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	庭の草花の手入れや装飾には気を 使っており、四季を感じられる花々 を飾っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	街中にはあるものの比較的静かな 環境である。G、H内の共有スパー スは太陽の光が入りやすく、暖かく 過ごしやすいと好評である		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペース以外に廊下や、玄関に ベンチを設置したりして工夫している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	し.い (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	備え付けの備品以外でも、使い慣れた 家具等、女子の心にかけて持ってきた だっている、絵を飾っている等、価値 を置かれている方もいる。	窓を開放したり、換気扇を活用してい いる、ホールに温度計を設置して、適 切な温度になる様に配慮している
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	廊下や浴室には、手すりを設置してある。 居室の近くにトイレを併せ置き、いつで もすぐに使えるように工夫してある。	
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	出来ることと出来ないことを見極め て言葉かけをしたがら見守っている	
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	洗濯物干しを、ススキ場を利用 できるようにしてあり、自分で干すこと も出来る。4、5月の庭には季節ごと の花や野菜を植えてあり、収穫を楽し みの一つとなっている	

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="checkbox"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="checkbox"/> ①毎日ある <input type="checkbox"/> ②数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> ③たまにある <input type="checkbox"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="checkbox"/> ②家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> ③家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/> ①ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="checkbox"/> ③たまに <input type="checkbox"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ○④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	①ほぼ全ての職員が ○②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- 認知症の症状が重いだけでなく、重複障害者(精神障害)を抱えた入居者を受け入れてきており、ある程度症状安定していき方があいは対応出来る
- 医療機関、介護保険施設との連携が図られており、入居者の状況に^{ナリ}応じて柔軟に対応出来る
- 他のG、Hよりも利用料を抑えて設定している、収入の少ない方でG、Hでの生活が出来ないようにしている。
- 家庭的な食事で美味しく、静かできごしやまいと入居者からは好評を頂いている。